

第5学年 理科 5月18日(月)～5月25日(月)

5年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。

「気象予報士～初級編～」では、雲について学びました。天気は、雲の量で決まります。雲の特徴を知り、雲を観察することができたら、いよいよ「気象予報士～中級編～」に挑戦しましょう。「中級編～天気予報をしよう～」が始まります。

雲がやってくれば天気は崩れます。雲の動きを予測して、天気予報に役立てることができるでしょうか。また、気象情報のいろいろを知り、天気予報に役立てられるようにしましょう。

家庭学習 4時間目

天気の変化は、雲によって決まります。雲の動きを予想することはできるでしょうか。

課題6:「晴れの次は曇り、曇りの次が雨というように、天気の変化には、決まりがあるのでしょうか。自分の考えを書きましょう。また、そう考えたわけも書きましょう。

ヒント:「天気の変化」は雲の変化ですね。雲の動きには決まりがあるのでしょうか？

課題7:雲の動き方の決まりを見つけましょう。気象庁のホームページなどを見ると雲の動き方を見ることができます。

気象庁:気象衛星 <http://www.jma.go.jp/jp/gms/>

日本気象協会:過去天気 <https://tenki.jp/past/>

参考資料:資料3「天気の変化にきまりはあるか。」

課題8:天気は、おおよそどのように変わるでしょうか。天気の変り方の決まりを説明しましょう、

参考資料:資料3「天気の変化に決まりはあるか」

家庭学習 5時間目

課題9:天気予報について①～⑥について説明しましょう。

- ① 天気予報とは？
- ② 天気予報はいつごろから始まったのでしょうか？
- ③ 天気予報は、どのようにして作られていますか？
- ④ 天気予報にはどんなものがありますか？
- ⑤ 天気予報は、どのようにしてつたえられていますか？
- ⑥ 警報・注意報とは？

参考資料:気象庁リーフレット「気象庁の仕事」

気象庁リーフレット「数値予報」

気象庁ホームページ「はれるんランド」<http://www.jma.go.jp/jma/kids/> を開き、

左端の「気象研究室」をクリック。「博士とのおしゃべりあり」を選んで、カーソルを移動させて「vol1 天気予報の役割」をクリック。

※「はれるんランド」を見ることができない場合は資料 4「天気予報と気象観測」

家庭学習 6時間目

課題10 気象観測により、いろいろな気象情報が得られています。どんな方法で気象観測が行われているのでしょうか。いろいろな気象観測について、どんな方法でどんな情報を得ているのかを調べてみましょう。

気象観測：アメダス・ラジオゾンデ・ウインドプロファイラ・海洋気象観測船・気象レーダー・気象衛星など

参考資料：資料5「気象観測のいろいろ」

気象庁リーフレット「気象庁の仕事」 気象庁リーフレット「航空交通」

気象庁リーフレット「海洋観測」

気象庁ホームページ「はれるんランド」<http://www.jma.go.jp/jma/kids/> を開き、左端の「気象研究室」をクリック。「博士とのおしゃべりあり」を選んで、カーソルを移動させて「vol2気象観測ってなんだろう？」をクリック。

※「はれるんランド」を見ることができない場合は資料4「天気予報と気象観測」

家庭学習 7時間目

課題11 昔から伝わる天気予報

昔から、人々は、身近な自然や生き物の様子を見て天気予報をしてきました。これらの天気予報は、科学的根拠に基づいているのです。資料6「昔から伝わる天気予報の知恵：問題」を見て、昔から伝わる天気予報の問題に挑戦してみましょう。挑戦したら、資料7「昔から伝わる天気予報の知恵：答え」を見て確かめましょう。

問題が終わったら、昔から伝わる天気予報の知恵を集めて、根拠を説明してみましょう。
学校が始まったら紹介してください。

ヒント：昔から伝わる天気予報の知恵は、

- 空気にしめりけがあると天気がくずれる。 ⇒しめりけ
- 上空の風が強いと天気がくずれる。 ⇒上空の風
- 「西から東へ」と変わるへんかのきまり。 ⇒西から東
- 生き物の本能や習性 ⇒本能

を利用しているものが多いのです。

使用する資料：資料6「昔から伝わる天気予報の知恵：問題」
資料7「昔から伝わる天気予報の知恵：答え」